共立女子短期大学　文科　2024年度　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP 1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
【幅広い教養】 言語・文学・人間心理・文化を多角的にとらえるための幅広い教養を身に付けている。	【社会への主体的な参画】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、広く社会に貢献するための知識と理解力をもち、ことばを通して主体的に世界と関わることができる。	【専門的なスキル】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、自分らしく社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けている。	【課題の探究・表現】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、自らテーマを見つけ出し追求する問題意識をもち、それを表現することができる。	【友愛】 言語・文学・人間心理・文化の学修で培った想像力をもち、周りの人々を思いやり、細やかに配慮することができる。	【リーダーシップ】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、他者との相互関係や協同関係を作り上げ、集団のなかの自分の役割を見出し、率先して行動することができる。

専門発展科目

CP4

・文科の専門教育科目を学修するにあたって、日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心理学コースの3つのコースの教育目標に沿って、体系性、順次性を踏まえて科目を配置する。専門発展科目では、学生の関心・意欲や目指している将来像にしたがって、各分野の科目を履修すると同時に、一つの分野にとどまらない幅広い知識・教養の獲得を目指す。また、それぞれの学修をもとに設定したテーマを追求し、専門的知識・技術修得の成果を生かす演習科目を配置し、思考能力・表現能力の更なる向上をサポートする。
・日本文化・表現コースでは、古典から近現代までの日本文学・文化の理解を深め、言葉の仕組みなどを身に付ける「リテラチャー」の科目群における発展科目を配置する。
・グローバル・コミュニケーションコースでは、観光業・接客業に役立つ英語の知識・技能を身につけるための「観光・接客英語」、オフィスワークに役立つ英語の知識・技能を身につけるための「オフィス英語」を配置する。
・心理学コースでは、発達過程、教授・学習、思考・推論・言語等の知識を学ぶ「発達・教育心理学系」、心理的障害、心理療法、健康開発等の知識を学ぶ「臨床心理学系」、自己過程、社会的相互作用、消費者行動等の知識を学ぶ「社会心理学系」の3分野における専門発展科目群を配置する。
・2年間の集大成として、課題に基づき学生が主体的に研究・制作に取り組む「卒業研究」をコース共通専門科目に必修科目として配置する。

卒業研究

DP 1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
物語の研究Ⅰ・Ⅱ 近代小説の研究Ⅰ・Ⅱ フランス短期留学 中国短期留学 韓国短期留学 エアポート・エアラインの英語 ホテル・レストランの英語 販売・ツーリズムの英語 通訳演習 ハワイ短期留学 ニュージーランド短期留学 病院・受付の英語 翻訳演習 TOEIC演習 Ⅰ TOEIC演習 Ⅱ	フランス短期留学 中国短期留学 韓国短期留学 エアポート・エアラインの英語 ホテル・レストランの英語 販売・ツーリズムの英語 通訳演習 ハワイ短期留学 ニュージーランド短期留学 ビジネス英語 プレゼンテーションスキル 病院・受付の英語 翻訳演習 TOEIC演習 Ⅰ TOEIC演習 Ⅱ	フランス短期留学 中国短期留学 韓国短期留学 エアポート・エアラインの英語 ホテル・レストランの英語 販売・ツーリズムの英語 通訳演習 ハワイ短期留学 ニュージーランド短期留学 ビジネス英語 プレゼンテーションスキル 病院・受付の英語 翻訳演習 TOEIC演習 Ⅰ TOEIC演習 Ⅱ アートセラピーと化粧の心理学	物語の研究Ⅰ・Ⅱ 近代小説の研究Ⅰ・Ⅱ プレゼンテーションスキル 児童福祉論 音楽とこころ 精神障害者保健福祉論 コミュニケーション心理 文学に見る行動心理	フランス短期留学 中国短期留学 韓国短期留学 エアポート・エアラインの英語 ホテル・レストランの英語 販売・ツーリズムの英語 ハワイ短期留学 ニュージーランド短期留学 ビジネス英語 病院・受付の英語 アートセラピーと化粧の心理学	ビジネス英語 プレゼンテーションスキル

短期大学開放科目

＜ITメディアコース＞
サステイナブル社会論
ユニバーサルデザイン論

＜生活デザインコース＞
プロダクトデザイン論
ファッションビジネス論
インテリアコーディネート論

＜食・健康コース＞
フードコーディネート論
女性と健康
食品の消費と流通

専門基幹科目

CP3

・文科の専門教育科目を学修するにあたって、日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心理学コースの3つのコースの教育目標に沿って、体系性、順次性を踏まえて科目を配置する。「専門基礎科目」で得た知識・技能との繋がりをもとに、豊かな文化的教養、社会に出て役立つ実践的な知識を涵養するための科目を設ける。また、各分野の全体像を理解するための科目を配し、専門性を発展させる基盤を作り上げる。
・日本文化・表現コースでは、文章表現を重視し、現代社会の情報を的確に選択・活用する力を養う「リテラシー」、古典から近現代までの日本文学・文化の理解を深め、言葉の仕組みなどを身に付ける「リテラチャー」、創作の手法を身につける「クリエイト」の3つの科目群における基幹科目を配置する。
・グローバル・コミュニケーションコースでは、英語圏の言語・社会・文化に関する知識を身につけるための「国際文化」、幼児英語教育に役立つ英語の知識・技能を身につけるための「幼保英語士」を配置する。
・心理学コースでは、発達過程、教授・学習、思考・推論・言語等の知識を学ぶ「発達・教育心理学系」、心理的障害、心理療法、健康開発等の知識を学ぶ「臨床心理学系」、自己過程、社会的相互作用、消費者行動等の知識を学ぶ「社会心理学系」の3分野における専門基幹科目群を配置する。さらに、研究を進めるための技術や思考法を修得することを目的とした「ゼミナール」を必修科目として配置する。

DP 1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
ことばの仕組みⅡ 現代のことばⅡ 物語を読む 近代小説を読む 日本文化・表現ゼミナール 映画で学ぶ英語 ポップソングで学ぶ英語 日英語対照研究Ⅰ 日英語対照研究Ⅱ アメリカ文化と多文化共生社会 映画で楽しむアメリカ文学 伝統文化論 環境文化論 サブカルチャー論 ライフワークバランスと健康 日本語教育を学ぶⅡ	ことばの仕組みⅡ 文学創作演習 幼児教育・保育英語 A 幼児教育・保育英語 B 心理学ゼミナール 伝統文化論 地域文化論 出版メディア論 アメリカ文化と多文化共生社会	文学創作演習 日本文化・表現ゼミナール 映画で学ぶ英語 ポップソングで学ぶ英語 日英語対照研究Ⅰ 日英語対照研究Ⅱ アメリカ文化と多文化共生社会 映画で楽しむアメリカ文学 幼児教育・保育英語 A 幼児教育・保育英語 B カウンセリング論 心理データ解析演習（SPSS） 心理学ゼミナール キャリアデザイン演習 出版メディア論 秘書実務を学ぶⅡ ビジネス実務を学ぶⅡ 日本語教育を学ぶⅡ	現代のことばⅡ 物語を読む 近代小説を読む 日本文化・表現ゼミナール 映像メディア論 文学創作演習 アメリカ文化と多文化共生社会 映画で楽しむアメリカ文学 発達心理学Ⅰ・Ⅱ 認知心理学 教育心理学 臨床心理学Ⅰ・Ⅱ 健康心理学 社会心理学 消費者の心理 パーソナリティ心理学 心理学ゼミナール ジェンダー論	ポップソングで学ぶ英語 映画で楽しむアメリカ文学 幼児教育・保育英語 A 幼児教育・保育英語 B カウンセリング論 心理学ゼミナール ジェンダー論 環境文化論 ビジネス実務を学ぶⅡ	日本文化・表現ゼミナール 映画で楽しむアメリカ文学 幼児教育・保育英語 A 幼児教育・保育英語 B 心理学ゼミナール 地域文化論 ジェンダー論 キャリアデザイン演習 秘書実務を学ぶⅡ ビジネス実務を学ぶⅡ 日本語教育を学ぶⅡ

短期大学開放科目

＜ITメディアコース＞
メディア社会論
ポップカルチャー論
メディアデザイン論
ITパスポート論

＜生活デザインコース＞
生活デザイン論
ファッションデザイン論
住環境デザイン論

＜食・健康コース＞
調理学
食物基礎科学
栄養学
食品学
食品衛生学

＜生活科学科コース共通＞
食生活とSDGs
衣生活とSDGs
住生活とSDGs
キャリア実務基礎（公務員・SPI対応）
医療事務入門
リテールマーケティング演習（販売士）

専門基礎科目

CP2

・文科の専門教育科目を学修するにあたって、日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心理学コースの3つのコースの教育目標に沿って、体系性、順次性を踏まえて科目を配置する。各コース共通の科目群として、文章表現力、コミュニケーション能力の養成を目的とした「リテラシー基礎」、豊かな文化的教養の養成を目的とした「カルチャー科目」、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けてキャリア発達を促す「キャリアサポート科目」、課題解決型授業と社会活動を組み合わせた学習を通して共立リーダーシップを育む「サービス・ラーニング科目」の科目群を配置する。
・日本文化・表現コースでは、文章表現を重視し、現代社会の情報を的確に選択・活用する力を養う「リテラシー」、古典から近現代までの日本文学・文化の理解を深め、言葉の仕組みなどを身に付ける「リテラチャー」、創作の手法を身につける「クリエイト」の3つの科目群における基礎科目を配置する。
・グローバル・コミュニケーションコースでは、英語運用能力（読む・書く・聞く・話すの4技能）を幅広く身につけるための「英語基礎・応用」を配置する。
・心理学コースでは、心理学の基礎知識や心理学分野の調査法を学ぶ「心理学」分野の専門基礎科目群を必修科目として配置する。

DP 1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
ことばの仕組みⅠ 現代のことばⅠ 日本文学・文化の歴史（古典） 日本文学・文化の歴史（近現代） 児童文学論 映画・演劇論 アニメの物語学 Reading (Intermediate) Reading (Basic) Writing (Intermediate) Writing (Bsic) Listening (Intermediate) Listening (Basic) Speaking (Intermediate) Speaking (Basic) Pronunciation 文章表現法 コミュニケーション論 伝える技術 日本語教育を学ぶⅠ	心理学概論 ことばの仕組みⅠ 現代のことばⅠ コミュニケーション論	Reading (Intermediate) Reading (Basic) Writing (Intermediate) Writing (Bsic) Listening (Intermediate) Listening (Basic) Speaking (Intermediate) Speaking (Basic) Pronunciation 心理測定法（ﾊﾟｰｿﾅﾘﾃｨ検査） 文章表現法 コミュニケーション論 伝える技術 ホスピタリティを学ぶ 秘書実務を学ぶⅠ ビジネス実務を学ぶⅠ 日本語教育を学ぶⅠ	日本文学・文化の歴史(古典) 日本文学・文化の歴史(近現代) 児童文学論 映画・映像論 アニメの物語学 Writing (Intermediate) Writing (Bsic) Speaking (Intermediate) Speaking (Basic) 心理学概論 文章表現法 伝える技術	ホスピタリティを学ぶ ビジネス実務を学ぶⅠ	Speaking (Intermediate) Speaking (Basic) ワークライフバランスと健康 ホスピタリティを学ぶ 秘書実務を学ぶⅠ ビジネス実務を学ぶⅠ 日本語教育を学ぶⅠ サービス・ラーニング

教養教育科目

CP1

ひとりの女性・ひとりの人間として日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加して責任ある役割を果たすために、以下の「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップコア」に区分する。

協働とリーダーシップコア	他者と協働しながら課題解決に導くためのリーダーシップ力を養う科目区分であり、「現代社会の諸課題の解決」「課題解決実践演習」「リーダーシップ開発」の3つの科目群から成る。いずれも選択科目とする。
創造とキャリアコア	新たな価値を創造し社会を生き抜くための基礎的な力やキャリア意識を養う科目区分であり、「データサイエンスとICTの基礎」を必修科目とし、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」を選択必修科目とする。「人間を理解するための教養」「社会を理解するための教養」「自然を理解するための教養」「身体と健康を管理する教養」「キャリアを創造するための教養」の5つの科目群から2単位を選択必修科目とする。
自律と努力コア	初年次教育科目で、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養う科目区分であり、「基礎ゼミナール」「論理的思考・文章表現」を必修科目とする。

カリキュラム・ポリシー

DP1との関連性がとても高い科目	DP2との関連性がとても高い科目	DP3との関連性がとても高い科目	DP4との関連性がとても高い科目	DP5との関連性がとても高い科目	DP6との関連性がとても高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1-1	AP1-2	AP2	AP3-1	AP3-2
【知識・技能】 高等学校の教育課程を幅広く修得している。	【知識・技能】 文科における学修の基盤として必要な科目の知識・技能、特に「国語」と「外国語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎技能を身に付けている。	【思考・判断力・表現力】 物事を多角的に捉え、自らの考えを整理・表現し、他者に伝えようとする意欲・態度を有している。	【主体性を持って多様な人々と協働する態度】 他者の意見や考え方を理解・尊重し、積極的に他者と協力し社会に貢献しようという態度を有している。	【主体性を持って多様な人々と協働する態度】 他者に寄り添い、リーダーシップを発揮して、他者とともに課題に取り組もうとする意欲を有している。

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。